

## 第 5 次小田原市総合計画「おだわら TRY プラン」後期基本計画 指標の設定

## 1. 確かな学力

- ・ 国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合

【根拠】全国学力・学習状況調査

- ・ 「国語の授業の内容はよく分かる／算数（数学）の授業の内容はよく分かる」の設問に「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合

【目標値の設定】

- ・ 国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合を平成 34 年度までに半減させる。

指標	指標名	単位	基準年	目標値
①	国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合	%	国語 21% 算数・数学 23% (平成 27 年度)	国語 10% 算数・数学 11% (平成 34 年度)

## 2. 豊かな心

- ・ 不登校児童生徒の出現率

【根拠】学校基本調査

- ・ 不登校児童生徒とは、何らかの心理的、情緒的あるいは社会的要因・拌啓により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間 30 日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。計算方法は、30 日欠席者／児童生徒数

【目標値の設定】

- ・ 不登校児童生徒の出現率を、平成 34 年度までに全国平均値にまで引き下げる。
- ・ 現時点での全国平均（最新の数値：平成 27 年度）の数値を目標値とする。この数値には、国立、私立が含まれる。中学校には、中等学校の前期課程が含まれる。

指標	指標名	単位	基準年	目標値
②	不登校児童生徒の出現率	%	小学校 0.78% 中学校 3.16% (平成 27 年度)	小学校 0.42% 中学校 2.83% (平成 34 年度)

## 3. 健やかな体

- ・ 新体力テストの下位層（D・E層）の児童生徒の割合

【根拠】全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問紙調査

【目標値の設定】

- ・ 8 種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ボール投げ）すべてを実施した場合の体力テスト合計得点（80 点満点）の良いほうから、A B C D E の 5 段階で評定した体力の総合評価において、小学校 5 年生の D 層（42～49 点）・E 層（41 点以下）、中学校 2 年生の D 層（27～36 点）・E 層（26 点以下）の児童生徒の割合を平成 27 年度の全国平均値まで引き下げる。

指標	指標名	単位	基準年	目標値
③	新体力テストの総合評価が下位層（D・E層）の児童生徒の割合	%	小学校 35% 中学校 27% (平成 27 年度)	小学校 27% 中学校 21% (平成 34 年度)